



## 京都市立西京高等学校との交流

- 1 目的 京都市立西京高等学校2学年生徒42名、引率教員3名が見学旅行の一環として、北海道羅臼高等学校を訪問し学校間交流を行う。  
羅臼高校の自然環境科目を通して、ESDやSDGs地球環境域教育に基づいた世界自然遺産への理解を深め、地域に根ざした人材を育成する。
- 2 日時 令和3年10月11日(月) 2～6校時
- 3 会場 北海道羅臼高等学校体育館、羅臼国後展望塔、羅臼町郷土資料館
- 4 対象者 2学年39名、知床学概論Ⅱ選択生徒7名(男5、女2) 3学年海洋生物(男6、女2)
- 5 担当者 福島義己(2年担任)、中野拓也(知床学担当教諭)
- 6 協力 公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟、羅臼町教育委員会
- 7 日程 9:30 京都市立西京高校来校 生徒42名、教員3名到着  
学校紹介・アイスブレイク交流・写真撮影等【体育館にて】2学年39名対応  
11:10 北方領土学【羅臼国後展望塔にて】知床学概論Ⅱ選択生徒7名対応  
13:20 ロープワーク【体育館にて】3学年海洋生物選択生徒7名対応  
14:10 資料館内見学【羅臼町郷土資料館にて】  
15:00 帰校



↑ ロープワークの実習(羅臼高校生がレクチャーしている)



↑ 北方領土学の予習として事前に指導を受けている



↑ 町立郷土資料館の天方館長からの解説を聞いている両校生徒。北方民族等に係る貴重な資料が展示されている。



左上: 羅臼高校生徒会が学校紹介をしている様子  
左下: アイスブレイク交流(なんでもバスケット)  
右上: 生徒交流の様子  
右下: 西京高校の生徒代表の挨拶



京都市立西京高等学校の皆さん、ありがとうございました。

